

平成29年度特許情報普及活動功労者表彰

## 一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報人材育成功労者】

日本パテントデータサービス株式会社 顧問  
重田 暁彦

### 功 績

富士通株式会社へ入社し、特許調査業務や全文検索・電子出願システムの開発等に従事され、特許情報の電子化の推進に大きく貢献されました。

特許情報の活用を促していくために、1976年頃に特許情報を用いた技術動向調査から技術の発展の動きを読み取れることを提唱されました。その作成マニュアルを整備されるなど、積極的な働きかけにより、有効性が理解され、技術動向調査の作成が社内の技術系の新人教育の必須事項として定着しました。

また、充実した先行技術調査の実施を促していくために、同義語の使い方、分類の使い方などの、検索のノウハウの伝授を含め、検索手法の教育にも力を入れられました。モデルケースとして、これらの取り組みは、他社にも参考にされました。この取り組みを広く紹介して欲しいとの要請に応じて、全8回の連載でその手法を紹介されました。その他にも、多数の書籍や論文を執筆され、ご自身のノウハウの発信に尽力されています。

また、2004年に会津大学客員教授（現特任教授）に就任され、大学でも特許情報の普及に力を入れられました。学内で教授・院生への特許情報調査分析手法を紹介され、特許情報の有用性の理解が進んだ結果、特許の調査・分析方法の講義が教育カリキュラムに採用されました。

また、企業向けの特許調査教育ツールの開発や、それを活用した教育に2006年から取り組まれています。「特許情報の見方、特許調査のあり方」など、サーチャー初心者および技術・研究者向けの教育ツールを構築されています。

この度は大変栄誉ある賞を頂き、誠に有難うございました。

受賞を機に思い返せば、私の半世紀に亘たる知的財産関連の仕事の内、大半が特許情報関係の仕事に携わって来たことがわかりました。研究・開発者に特許情報を身近なものにするため、技術者向けの調査ツール（特許情報の全文検索システム）を開発し、さらに調査・分析のノウハウを伝える仕事に携わりました。

仕事でも、好きなことを好きなようにやってきたと言われることが少なくありませんでした。多大な投資を伴う活動や仕事をさせて頂いた上司や仲間、無理をお願いし、ご協力頂いた業者の方々に感謝申し上げます。

